

広島広域都市圏の歴史

西国 街道

横断マップ
散策マップ



200万人広島都市圏構想

江戸時代、江戸と「西国」九州への経路をつなぐ重要な道路として発展した「西国街道」。

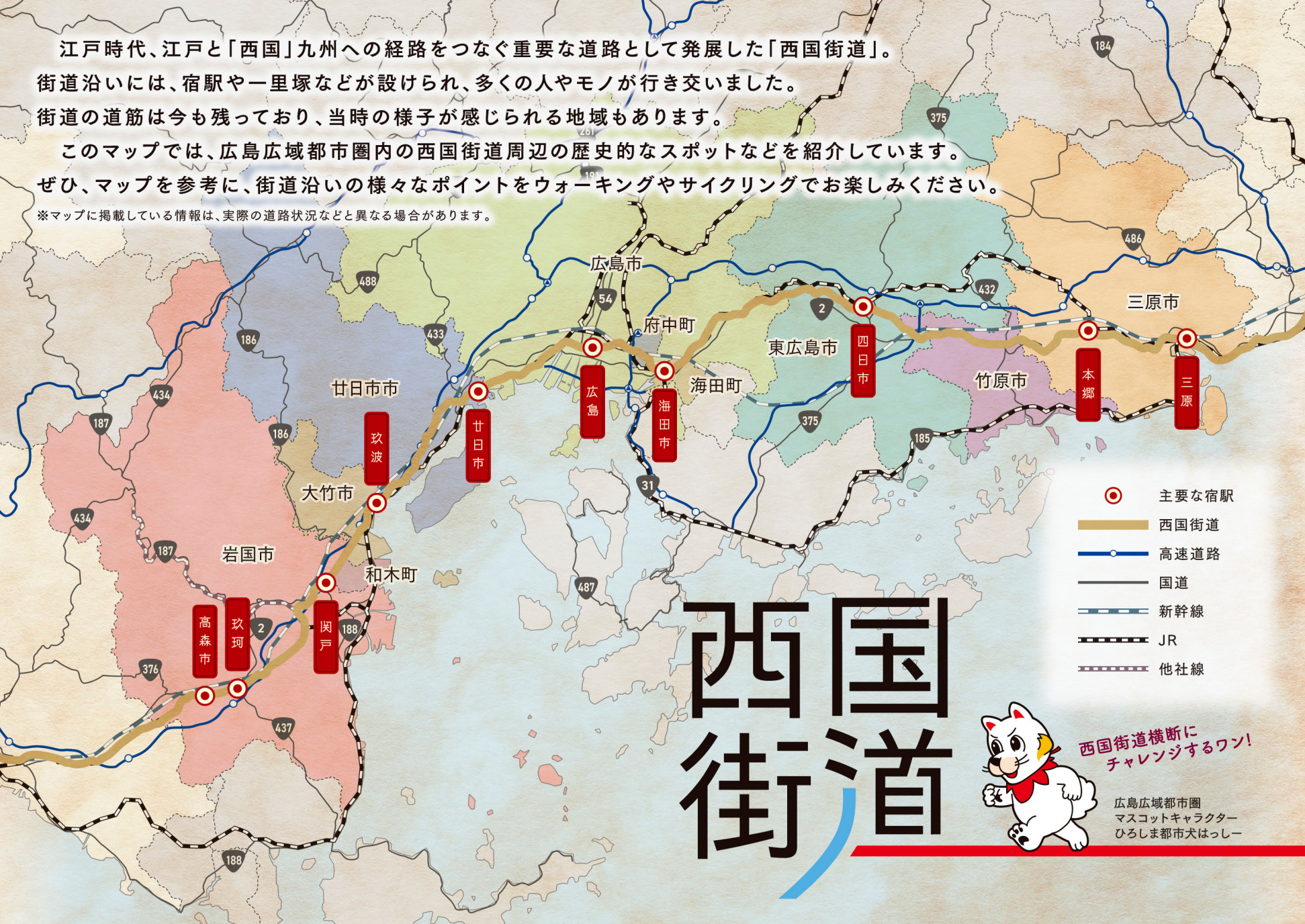
街道沿いには、宿駅や一里塚などが設けられ、多くの人やモノが行き交いました。

街道の道筋は今も残っており、当時の様子が感じられる地域もあります。

このマップでは、広島広域都市圏内の西国街道周辺の歴史的なスポットなどを紹介しています。

ぜひ、マップを参考に、街道沿いの様々なポイントをウォーキングやサイクリングでお楽しみください。

※マップに掲載している情報は、実際の道路状況などと異なる場合があります。



主要な宿駅

西国街道

高速道路

国道

新幹線

JR

他社線

西国街道



西国街道横断に
チャレンジするワン!

広島広域都市圏
マスコットキャラクター
ひろしま都市犬はっしー

①三原エリア



500m

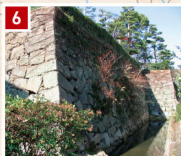
大島神社へ
向かう道は
細く分かりづらいです。



後藤門石垣



三原市歴史民俗資料館



三原城船入櫓跡



三原城東大手門跡の碑



極楽寺



熊野神社



糸碕神社



ガイド案内
あります



三原ガイドの会
(三原観光協会内)
0848-67-5877

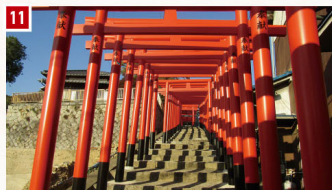


三原市



お米とお魚mihola

築約100年の古民家をリノベーションし、レストランと物販コーナーを併設したお店です。レストランでは、「お米とお魚」をテーマに地元の美味しいお米やとれたての魚を味わうことができます。



大島神社

三原城の大島稲荷と城内の庭に祀られていた厳島神社を合祀し、現在の地に移されました。参道には風情のある朱色の連立鳥居が並びます。



お茶の平野園

明治38年(1905年)創業のお茶屋です。城跡を眺めながら、併設の日本茶カフェでお茶を飲みつつゆったりとした時間を過ごせます。



三原城天主台跡

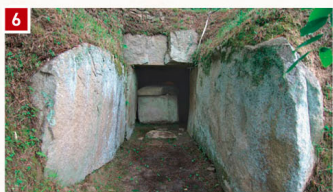
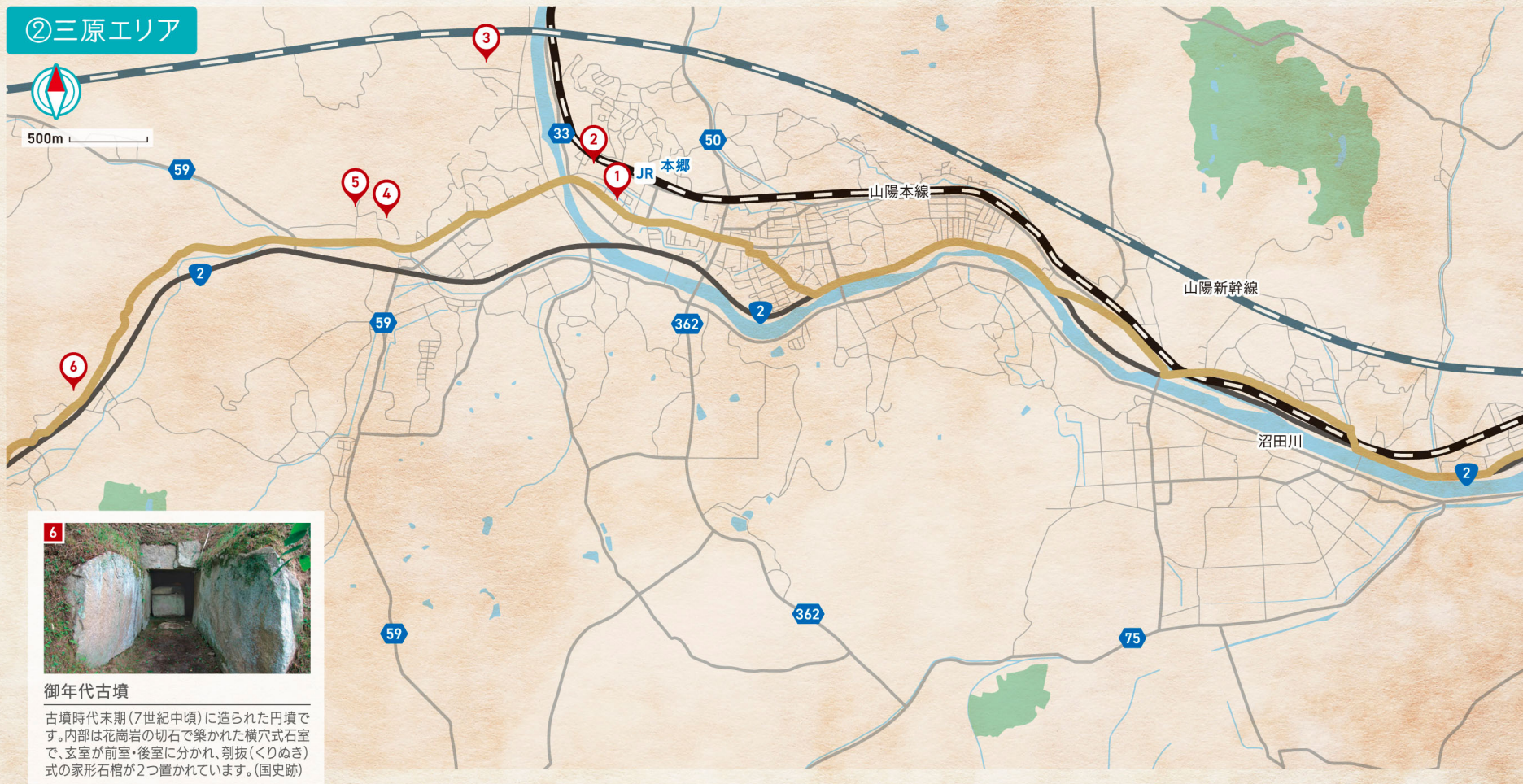
戦国武将・毛利元就の三男である小早川隆景が永禄10年(1567年)に築城した海城です。海に浮かんで見えたことから、別名「浮城」とも呼ばれます。



酔心山根本店

万延元年(1860年)創業の日本酒の蔵元で、事前に予約すれば見学もできます。日本画の巨匠・横山大観が最も愛飲した酒として知られています。(国登録文化財)

②三原エリア



御年代古墳

古墳時代末期(7世紀中頃)に造られた円墳です。内部は花崗岩の切石で築かれた横穴式石室で、玄室が前室・後室に分かれ、割抜(くりぬき)式の家形石棺が2つ置かれています。(国史跡)



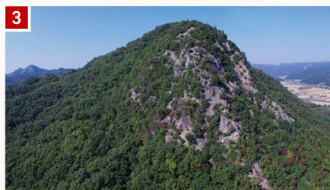
梅木平古墳

横穴式石室では県内で最大級の規模(全長13.25m・幅3.02m・高さ4.21m)を誇り、7世紀初頭前後の古墳と推定されます。(広島県史跡)



横見廃寺跡

昭和46年~48年までの発掘調査で、講堂跡、塔跡、回廊跡、北面築地跡などの遺構が見つかりました。寺の範囲は東西約100m、南北約80m前後と考えられます。(国史跡)



新高山城跡

小早川隆景により天文21年(1552年)、対岸の高山城から本拠地が移されました。本丸・釣井の段には石垣が見られ、井戸が6基現存します。(続日本100名城に選定、国史跡)



本郷生涯学習センター

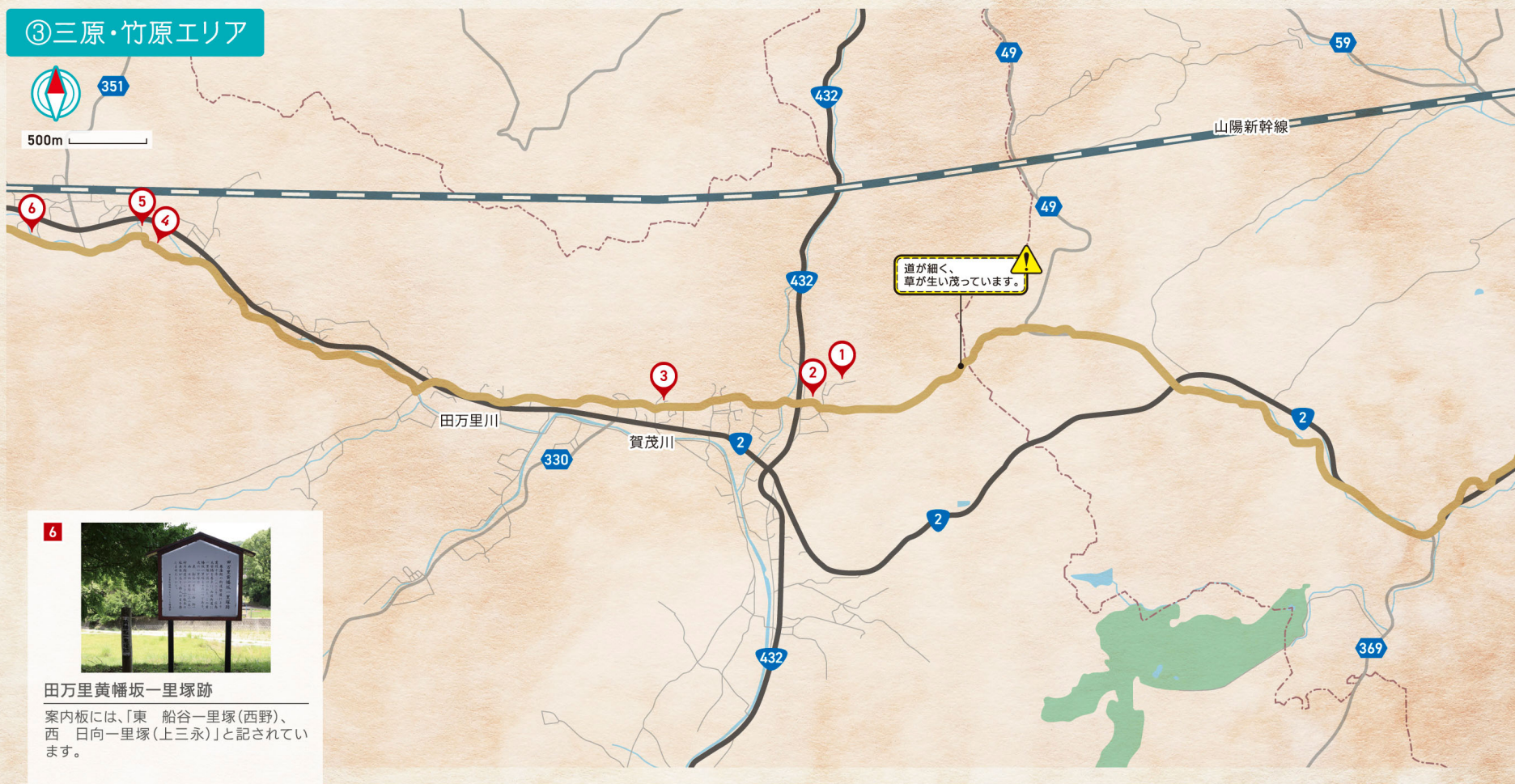
2階の展示室では、本郷地域の文化財に関するパネルを展示しています。1階には続日本100名城のスタンプ(新高山城跡)を設置しています。



恵美須神社

商売の神様である恵比寿様を祀っています。鳥居には鯛の2枚合わせの扁額があり、鯛の形をした手水鉢があります。

③三原・竹原エリア



6



田万里黄幡坂一里塚跡

案内板には、「東 船谷一里塚(西野)、西 日向一里塚(上三永)」と記されています。

5



田万里市跡

周りには田万里市本陣跡や市恵美須神社などがあり、往事の面影を残しています。

4



茗荷の清水

田万里市から100mほど東に位置し、西国街道を行き来する旅人ののどを潤した清水です。

3



船谷一里塚跡

案内板には、「1610年頃～200年間」と記されています。近くには、江戸時代の石積みも残っています。

2



西国街道道標

明治32年(1899年)に建立された道標です。「東大坂 西廣島 道、南竹原 北三次 道」と記されています。

1



横大道古墳群

新庄町東鷺森山の麓に11基の古墳が分布しています。なかでも1号墳の横穴式石室の規模は竹原市内最大で、金銅製冠片をはじめとする副葬品が発見されています。



④竹原・東広島エリア



ガイド案内
あります



東広島
ボランティア
ガイドの会
082-421-2511



西条酒蔵通り観光案内所(くぐり門)

路地を跨いで建つ建物が珍しく、昭和初期に賑わった芝居小屋「朝日座」への入口でした。平成23年に改裝し、観光案内所になっています。



日向一里塚

江戸時代に設けられた一里塚で、東広島呉自動車道建設時に西に60mの位置に移築復元されました。南北に2基あり、その間は当時の道幅と同様4.5mです。



三永の石門

明治15年(1882年)竣工。国道2号を作るときに分断された、農業用水路をつなぐためにつくられた石造アーチ式の水路橋です。(国登録有形文化財)



石立神社

豊田郡誌に、神社の由緒(落石伝説)が記されています。創建は寛延4年(1751年)頃とされており(その後再建)、今も大切に祀られています。



松尾神社

日本三大酒神の一人、大山咋神を祀る京都嵐山の松尾大社から分祀された神社です。



西条本町歴史広場

西条酒蔵通りとその周辺地域の歴史と文化を学ぶことができる多目的広場です。背景に酒蔵が並び、フォトスポットとしてもおすすめです。



御茶屋(本陣)跡

寛永10年(1633年)に幕府巡検使接待のために建てられました。その後、四日市宿の本陣として活用され、大名や幕府の要人が宿泊しました。



史跡 西条酒蔵群

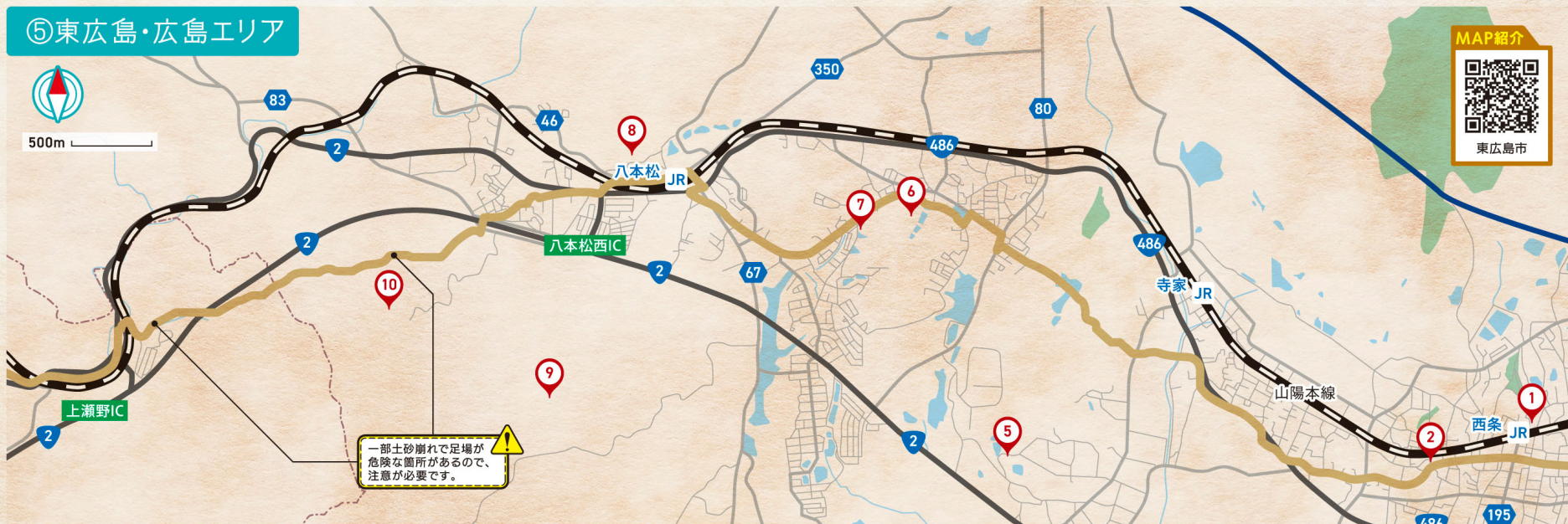
西条酒蔵通り地区に広がる、近世に始まり、近代に発展し、現在も続く近代屈指の酒造施設群です。令和6年2月に国の史跡に指定されました。



史跡 安芸国分寺跡(安芸国分寺歴史公園)

奈良時代に聖武天皇の詔により、全国に造られた国分寺の一つです。現在の境内の周辺は安芸国分寺歴史公園として整備されています。

⑤東広島・広島エリア



MAP紹介

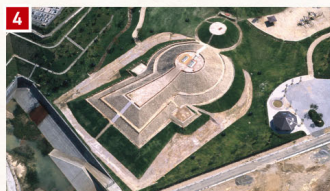


東広島市



新宮神社

本殿は寛延3年(1750年)に再建されたもので、東広島市内で特に大規模なものです。建築意匠に優れ、東広島市の重要文化財に指定されています。



史跡 三ツ城古墳

撮影：井手 三千男

3基の古墳からなる古墳群で、第1号古墳は広島県内最大級の前方後円墳です。5世紀前半頃の築造と推定され、当時の安芸地方の大豪族の墓と考えられています。



賀茂郡御役所跡

江戸時代、広島藩の代官所が置かれ、代官不在時は御役所と呼ばれました。



教善寺

浄土真宗のお寺で本堂は明治12年(1879年)に再建されたものです。随所に豪華な彫刻や彩色が見られ、明治時代の豪華絢爛な真宗本堂の好例です。



三ツ城古墳
ガイダンスコーナー



大山峠

古来より山陽道(西国街道)の難所として知られます。付近には戦国時代の刀匠・大山刀鍛冶の屋敷跡やお墓が残されています。



東広島市史跡 曾場が城跡

鏡山城の廃城後、大内氏の安芸国支配の拠点となった杣城の遺構です。山陽道(西国街道)を押さえる上で好位置にあります。



疱瘡神社・馬頭観音

子供の病に霊驗があり、天然痘が流行した時、祈ると早く治ったことから疱瘡神社という名になりました。菖蒲前の愛馬を祀った馬頭観音もあります。



八本松八十八石仏

北海道開拓で富を得て帰郷し、八本松駅近くに住居を構えていた堀岡熊次郎が中心となって建てた88体の舟形光背をもつ石仏です。



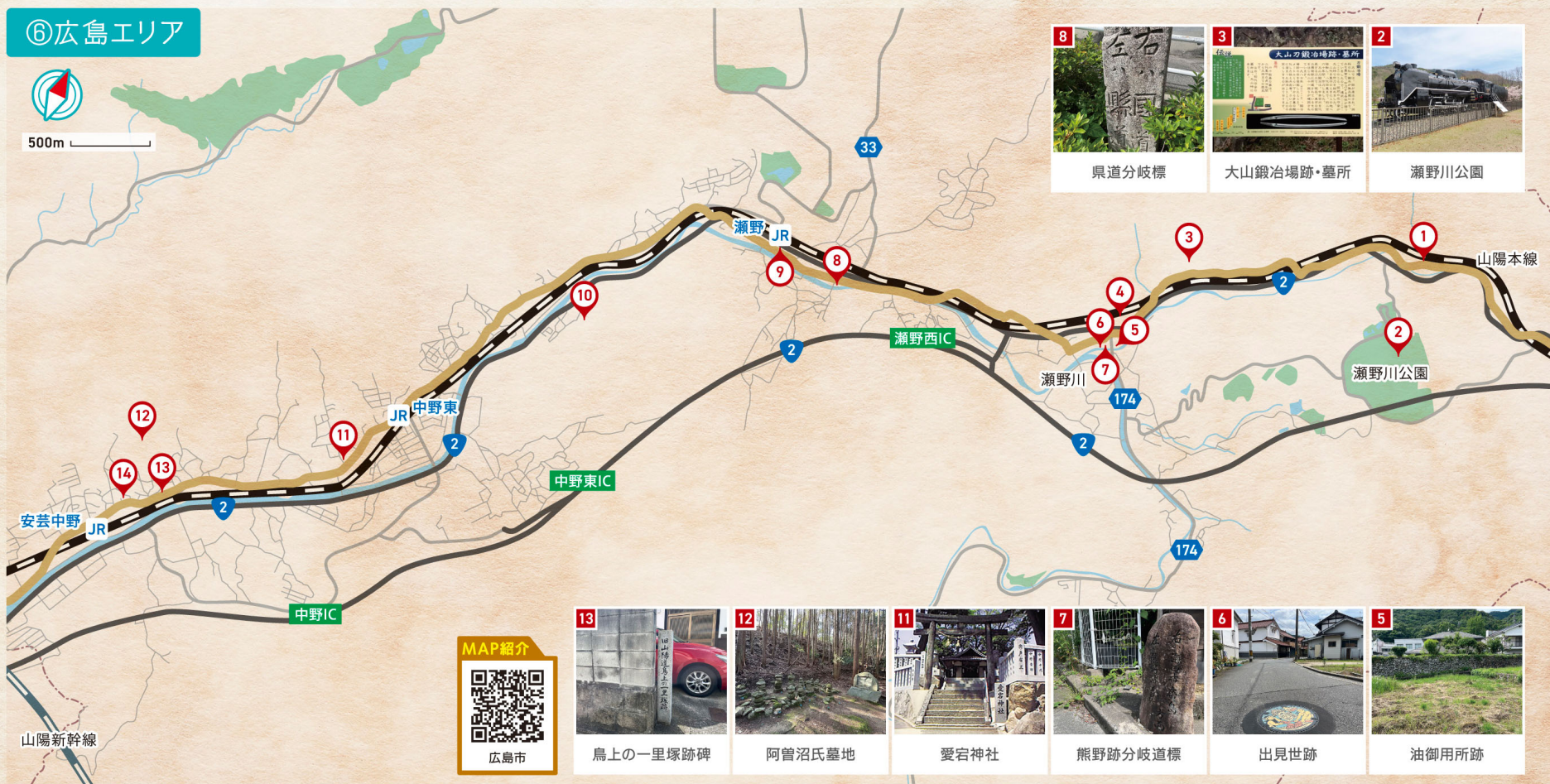
清水川神社

文明18年(1486年)創建。参勤交代時の落馬を防ぐため、神殿を北向きから西向きに向けなおしたところ、以後そのようなことは起こらなかったと伝わっています。

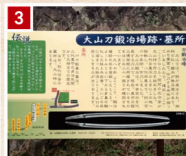
⑥広島エリア



500m



県道分岐標



大山鍛冶場跡・墓所



瀬野川公園

MAP紹介



広島市



鳥上の一里塚跡碑



阿曾沼氏墓地



愛宕神社



熊野跡分岐道標



出見世跡



油御用所跡



専念寺

安芸国広島藩の地誌『芸藩通志』に、僧道栄の開基とあります。現在は真宗で、それ以前は禅宗とも真言宗とも言われますが、中野の地に古くより仏教道場としてありました。



切幡神社と大ケヤキ、シイ林

天文6年(1537年)に阿曾沼興郷が社殿を再造しました。祭神は天照大御神、国之常立神、宗像三女神他。境内にある大ケヤキと裏山のシイ林は市の天然記念物です。



落合の一里塚跡碑

広島札場より4里、この一里山は50丁道、尾道より約15里。筑紫紀行にも記されました。



龍善寺

治安2年(1022年)空心が天台宗伊福寺を開基。天文15年(1546年)真宗に改宗。寛永元年(1624年)快存が現在地に再興。その後龍善寺に改めました。



涼木の一里塚跡碑

備後尾道より14里、広島札場より5里50丁道と記されています。寛永10年(1633年)の巡見使巡察の時に設置されたといわれています。

⑦広島・府中・海田エリア



府中町歴史民俗資料館(府中公民館内)

府中町の「自然・あゆみ・暮らしと文化」をテーマに、昔の道具、農家、動植物ジオラマ、国史跡下岡田官衙遺跡からの出土品・復元CGなどを展示しています。



岩滝神社

明暦2年(1656年)、それぞれの集落にあった八幡宮、祇園社、新宮の3つの神社を1つにして当時の船越村一本化の象徴として岩滝山に合祀されました。



三宅家住宅

江戸時代から明治にかけての大農家。屋号は新宅屋、母屋は寛政元年(1789年)の建築。土蔵などが残され江戸時代の面影が残されています。



旧千葉家住宅

屋号は神保屋、江戸時代を通じて天下送り役、宿送り役など要職を務めました。座敷棟は広島県的重要文化財、庭は名勝に指定されています。



中野砂走の出迎えの松

参勤交代による江戸勤めを終えて藩主が広島城下に入る際、家来たちがこの付近まで出迎えたことに由来しています。昭和49年(1974年)に広島市天然記念物に指定されました。

⑧広島エリア



500m



瀨切石



別れの茶屋



旭山神社



旧井口港の雁木



地藏尊



浄教寺



小己斐明神

古い街道が残っていますが、通り抜けできません。

古いまち並みが残っています。

JR(新井口)



広島市



仏だん通り



西国街道デザインマンホール/サインボード



京橋



猿猴橋



西国街道案内板



本川橋



元安橋



原爆ドーム



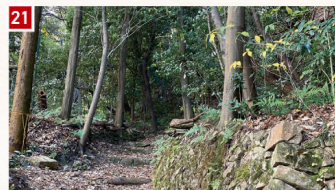
広島城



広島本通商店街



胡子神社



龍神山

龍神山山道入口から約100mは江戸時代の西国街道がほぼ昔のままの姿で残っています。山頂は望月山とも称され、月見の名所でもありました。



小泉本店

江戸時代の天保年間(1829年~1847年)に創業された造り酒屋。今も蔵島神社のお神酒をはじめ清酒(日本酒)を作っています。屋根の上の「煙出し」など特徴的な造りの母屋から昔の街道の面影が見えます。



延命地蔵

長生きをかなえてくれる地蔵菩薩です。旅人が安全を願いました。



源左衛門橋

江戸時代の初めの頃、ある大名が通りかかる八幡川が出水して川を渡れず困っていました。近所の柴竹源左衛門が板を持ってきて渡してやったことから、この名前が付けました。



平和記念公園

原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念して開設された都市公園。公園内のS字の道は、城下町特有の鍵型に折れ曲がる道があった名残です。

⑨広島・廿日市エリア



500m



街道松(楽々園)



光禪寺誓いの松



光禪寺

MAP紹介



広島市

ガイド案内
あります

五日市
西国街道散策倶楽部
082-922-8333
(広島市五日市民民館気付)



洞雲寺



洞雲寺前公園



(株)サクラオブルワリー
アンドディステイラー



津和野藩御船屋敷跡



街道松(廿日市市)



佐方一里塚跡



五つ神社

古来「えびすさん」と呼ばれ、御祭神が五柱であり社名となり、五日市のいわれともいわれています。一説には菅原道真が船を着け休んだ地とも伝えられています。



塩屋神社

江戸初期に開設された海老塩浜の鎮守社で、厳島神社の末社として、また五日市八幡神社の御旅所ともなり、五日市の港は繁栄を極めました。



福佐売神社

節婦の榎本連福佐売を祀った神社です。「三代実録」には貞観14年(872年)にその節操を称し位階を与えられたという記録が残っています。



けん玉商店街

廿日市が発祥のけん玉をモチーフにした飲食メニューや雑貨を販売する商店が立ち並びます。けん玉を描いたマンホール鉄蓋は隠れた人気スポットです。



廿日市本陣跡

大名や役人が宿泊していた本陣です。廿日市宿の本陣役は山田氏が代々務めました。



廿日市天満宮

江戸時代中期から後期にかけて廿日市は北前船が出入りにしていました。灯籠の明かりは灯台として沖をゆく船の安全を守っていたと伝えられます。



海老塩浜跡

江戸初期に広島藩は海老山の西に塩浜を開設しました。良質の塩は佐伯郡や山県郡へ売り渡され、明治末年に閉鎖され埋立てが行われました。

⑩ 廿日市・大竹エリア



500m



今川貞世歌碑



妹背の滝



大頭神社



高庭駅家跡



三槍社



今川貞世歌碑

道路建設によって、
当時の道が不明に
なっています。

銚の峠のある山道ですが、当時の道は
不明です。銚の峠付近から玖波方面へ
行く道は危険ですので通行しないでください。

山道により足場が
悪いので、注意が
必要です。

山陽新幹線

大野浦 JR

山陽本線

前空 JR

宮島口 JR



高札場跡



角屋釣井

ガイド案内
あります



大竹市歴史研究会
0827-52-3774

MAP紹介

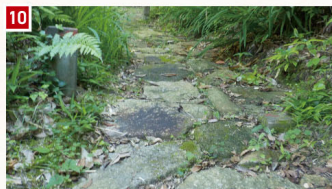


大竹市



玖波宿本陣跡

玖波宿には本陣「洪量館」が置かれ、諸大名や幕府役人の宿泊に当てられました。卯建の町並みも残っています。



鳴川の石畳

坂道に平らな敷石を敷き詰めて、土が流れるのを防ぎ、旅人や馬の歩行の安全を図ったもので、当時の街道づくりの苦心が偲べれます。(約25m)



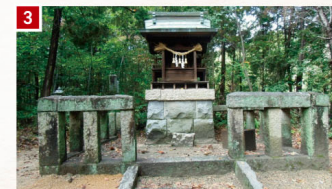
残念社

長州戦争中、平和のため、ひとり長州陣に赴く、長州軍に狙撃され「残念」と大声を発して倒れた宮津藩依田伴蔵を悼み、土地の人々が建てた祠です。



今川貞世歌碑

今川貞世が旅の紀行文を記した「道ゆきぶり」には大野の景色を詠んだ歌が4首あり、中山、大野浦駅、四十八坂の寺屋敷に歌碑が建てられました。



新宮神社・次郎屋敷跡

大野五郎伝説の総領である二男の次郎が祀られている神社です。その東側に次郎の屋敷跡と伝えられる空き地があります。

①大竹・和木・岩国エリア



500m



吉田松陰東遊記念碑



西国街道案内標柱



小瀬茶屋跡



藤池神社



汐涌石



吉田松陰歌碑

吉田松陰が安政の大獄によって江戸へ送られる際に、小瀬の地で詠んだといわれる歌を刻ませた石碑です。石碑の字は岸信介が書いています。



籌勝院

岩国藩の家老、香川春継の菩提寺です。四境戦争の際は、遊撃隊を主力とした長州軍の本陣となりました。



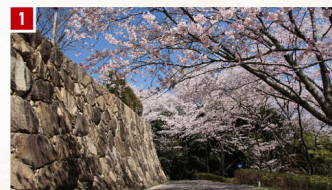
木野川渡し場跡

安芸・周防の国境にあった渡し場付近は、今も昔の姿を留めています。平時の水深は舟渡しの所で約1.4m、徒歩(かち)渡りの所で約0.7mでした。



湯原山八幡宮

湯原源左衛門常弘が天徳2年(958年)に創建したと伝えられています。二鹿伝承にも関係する神社でもあり、古代の山陽道は神社の周辺を通過していたと推測されます。



亀居城跡

広島城に入城した福島正則は、毛利氏に対する軍事拠点として亀居城を築城しました。現在は亀居公園として市民の憩いの場となっています。

ガイド案内
あります



大竹市歴史研究会
0827-52-3774

MAP紹介



大竹市

⑫ 岩国エリア



500m



千体仏

柱野の地にかつてあった桂雲寺にゆかりある小さな木仏で、795体と多数あることから千体仏と呼ばれています。門徒の法要のとき、亡き人の顔に似た仏像を選んで仏壇にあげ、お経をあげたと言われています。



多賀山神社

疫病が流行った際に、滋賀県の多賀大社より勧請したと伝えられています。創建は不明ですが、明和5年(1768年)以前と推測されています。



石州街道(岩国往来)分岐点

多田とこの地で石州街道(岩国往来)と分岐します。石州街道は、この地で山陽道と分かれ、岩国北部の本郷、錦町の宇佐郷を経て萩あるいは津和野へ向かいます。



大明小路

錦帯橋より伸びる岩国城下町の主要な街路です。石州街道(岩国往来)の一部であり、岩国藩の港、今津と本郷、萩、石見地域を結ぶ経路でもあります。



錦帯橋

三連のアーチ構造を有する木造橋で、全長は約193mです。この木造アーチ構造の美しさが大きな魅力です。(国指定名勝)



岩国城跡

吉川広家が築城した城で、慶長13年(1608年)に完成しました。その後、元和の一國一城令で廃城となります。現在の天守は昭和37年(1962年)に建てられたものです。

⑬ 岩国エリア



500m



周防源氏武田氏屋敷跡
及び墓所



歴史の道 旧山陽道
看板



浄光寺

玖珂の地名の由来とされる、玖の玉(黒岩の玉)、珂の玉(瑠璃潔白)が野口の里から出現し、金光明寺(後の浄光寺)の霊泉で磨いたとされています。



祥雲寺

元は谷津にありましたが、江戸時代に現在地に移りました。1555年、防長侵攻を行った毛利元就との戦いである鞍掛合戦で討死した、鞍掛城主杉隆泰の墓があります。



田坂市良右衛門碑

市良右衛門は時の代官の悪政に対し改めるよう進言説得し、代官に直つた罪で投獄後、村民有志の訴えによって刑が軽くなり釈放されました。



欽明寺

第29代欽明天皇が御幸の際、休息され欽明の名をいただいて寺号としたと伝えられています。境内には「欽明天皇腰掛けの石」があります。



高森天満宮

周防三天神の一つで、学問の神様、菅原道真公が祀られています。



吉田松陰常宿の宿泊記念碑

かつて吉田松陰の親戚、岩本家の住宅があった場所で、定宿となっていたと伝えられています。



高森本陣跡

萩藩が高森に設けた本陣であり、現在は門だけが現存しています。藩主の参勤交代や幕府の役人の宿泊等に利用されました。



梶杜八幡宮

高森の八幡さんとして地元知られている神社です。また、豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に休憩の陣所を置いたことも伝えられています。



菅原神社

菅原神社は菅原道真を祀っており、社叢のうちモミノキとサカキは、ひと際目立つ樹木で市指定文化財に指定されています。



グリーン：西町小路めぐり
ブルー：東町神明めぐり
オレンジ：三原城跡めぐり



Check

三原城天主台跡

戦国武将・毛利元就の三男である小早川隆景が永禄10年(1567年)に築城した海城です。海に浮かんで見たことから、別名「浮城」とも呼ばれます。



酔心山根本店

万延元年(1860年)創業の日本酒の蔵元で、事前に予約すれば見学もできます。日本画の巨匠・横山大観が最も愛飲した酒として知られています。(国登録文化財)



船入櫓跡

大島・小島を繋いで作られた三原城。船入櫓跡は現存の城跡の中で最も海城としての特徴が分かる貴重な石垣です。



お茶の平野園

明治38年(1905年)創業のお茶屋です。城跡を眺めながら、併設の日本茶カフェでお茶を飲みつつゆったりとした時間を過ごせます。



大島神社

三原城の大島稲荷と城内の庭に祀られていた厳島神社を合祀し、現在の地に移されました。参道には風情のある朱色の連立鳥居が並びます。



ガイド案内
あります



三原ガイドの会
(三原観光協会内)
0848-67-5877



FOCUS

伝統工芸 三原だるま

「豆紋りをしている、目が描いてある、小石や鈴が入っている」ことが特徴です。三原だるま工房では30分で面相描きを体験できます。



お問い合わせ/(一社)三原観光協会 0848-67-5877

スポット 三原市歴史民俗資料館

三原市歴史民俗資料館は、令和7年8月1日に移転、リニューアルオープンしました。三原城を築いた戦国武将小早川隆景にまつわる資料や市内の文化・歴史を紹介する展示室、市内の文化財や名物、名所を紹介する大型パネルが70枚展示されているホールがあり、楽しみながら三原を知ることができる施設です。

お問い合わせ/三原市歴史民俗資料館 0848-62-5595





check

旧松阪家住宅

市重要文化財の商家の旧宅。
唐破風の流れるような屋根と菱格子の
塗り込め窓が華麗な建物です。
(水曜休館・入館料300円)

1



藤井酒造・酒蔵交流館

江戸時代末期に建てられた
酒蔵の一角を改造した酒蔵交流館は、
酒蔵ならではの落ちついた空間に椅子と
テーブルが並べられ、さき酒も楽しめます。

9



西方寺・普明閣

西方寺の高台に建てられた普明閣からは、
竹原の町並みが一望できます。

2



旧森川家住宅

塩田の一角を埋め立てて建てられた
大正時代の豪邸。
美しい庭が楽しめます。
(木曜休館・入館料400円)

10



修景広場

まちなみ竹工房の裏にある竹を
テーマにした休憩所です。
ハートの風車を一面に飾った
フォトスポットがあります。

6

ガイド案内
あります

たけはら観光ガイド会
0846-22-7730

FOCUS

伝統工芸 まちなみ竹工房

常時数人の職人が竹かごや置物などの竹工芸品を制作しており、この見学のほか製品展示や販売をしています。希望者には職人の指導を受けながら竹かごや竹とんぼなど竹細工を制作する「竹細工体験」が可能です。

お問い合わせ／まちなみ竹工房 0846-22-0973



スポット 道の駅たけはら

歴史的景観を残す「町並み保存地区」のゲート部分、市街地の中心に位置し、竹原市の特産品や地酒、お土産など販売しています。その他にも、道路情報・観光情報コーナー、地域交流スペースを完備しています。

お問い合わせ／道の駅たけはら 0846-23-5100





check

西条酒蔵通り

JR西条駅前には数多くの酒蔵が集中し、煉瓦作りの煙突が連なる一帯には、なまこ壁や白壁の酒蔵、赤瓦の屋根、黒塗りの格子など歴史を感じさせます。



くぐり門

路地を跨いで建つ建物が珍しく、パンフレットの配布や酒蔵通りの案内、観光グッズの販売を行っており、多目的スペースでは展示会なども実施しています。



西条酒蔵通りの蔵元

JR西条駅前には数多くの蔵元が集中しています。賀茂泉酒造、賀茂鶴酒造、亀齢酒造、西条鶴酒造、山陽鶴酒造、白牡丹酒造、福美人酒造。



松尾神社

日本三大酒神のひとつ京都の松尾大社から分霊を受け御建神社境内に建立されました。酒造りの始まる11月に西条酒造協会の酒造祈願祭が行われています。



西条本町歴史広場

酒蔵通りの歴史と文化を紹介しています。また、イベントなども行われる多目的広場です。



ガイド案内
あります



東広島ボランティアガイドの会
082-421-2511



FOCUS

スポット 御茶屋(本陣)跡

江戸時代に西国街道の宿場町として栄えた西条四日市(現在のJR西条駅周辺)には、幕府巡検使接待のために御茶屋が建てられ、その後四日市宿の本陣として活用されました。現在の門は当時の表御門を復元したものです。

お問い合わせ/賀茂鶴酒造株式会社 082-422-2122



ご当地料理 美酒鍋

酒都西条の名物料理「美酒鍋(びしゅなべ)」。

豚肉、鶏肉、野菜類を日本酒と塩・こしょうだけで調理するのが特徴。元は蔵人たちの賄い料理で利き酒に影響のないようにとシンプルな味付け。素材本来の旨味が引き出されています。

お問い合わせ/東広島市ブランド推進課 082-422-1032





ブルー：東海田と瀬野川めぐり
オレンジ：海田市めぐり

check

三宅家住宅

江戸時代後期の商家建築である主屋をはじめ、衣裳蔵・新蔵・古米蔵・新米蔵・裏長屋門は国の登録有形文化財に指定されています。



旧千葉家住宅

西国街道の宿場町として栄えた海田で宿駅の要職を務めた千葉家の旧宅です。江戸時代中期の座敷棟、庭園は県指定文化財に指定されています。



織田幹雄スクエア

2階の「織田幹雄記念館」では、海田町出身で、日本人初のオリンピック金メダリストである織田幹雄さんの足跡をたどることができます。



熊野神社

現在の拝殿は文政8年の建築で、県下最大級の規模を誇ります。幣殿には、三十六歌仙の絵馬が掲げられており、幣殿が開いている時は見学できます。



日浦山

標高約346Mの山頂からは、海田の町や広島湾に浮かぶ島々を望むことができます。「海田里山ガイドの会」による登山ガイドを行っています。(要予約)



ガイド案内
あります



西国街道・海田市ガイドの会
お問い合わせ／
海田町かいたブランド課
082-823-9212



FOCUS

スポット 旧千葉家住宅

要人の休泊などにも使われた本住宅は、街道沿いに面して建ち、主屋・角屋・座敷棟・泉庭により構成されています。中でも安永三年に建築された座敷棟は、建築当初の統一感ある接客空間の面影を今によく伝えています。

お問い合わせ／織田幹雄スクエア 082-822-7373



スポット 織田幹雄スクエア

海田町の社会教育の拠点である「海田公民館」と海田町出身で日本人として初めてオリンピックで金メダルを獲得した織田幹雄さんを顕彰する施設「織田幹雄記念館」の複合施設です。2階の「織田幹雄記念館」では、織田幹雄さんの足跡をたどることができます。

お問い合わせ／織田幹雄スクエア 082-822-7373





check

西国街道案内板

広島駅前の駅前大橋のたもとに設置されています(駅から地下道で移動)。西国街道に関する江戸時代から現代の歴史の流れを学ぶことができます。

1



ひろしま夢ぶらざ

広島県内の市・町の旬な情報や特産品・お土産がなんでも揃うお店です。

6



仏だん通り

江戸時代半ば頃まで西国街道はこの通りを通っていました。江戸時代末期頃から仏壇店が軒を連ねるようになり、繁華街となった現在も仏壇店が並びます。

4



平和記念公園

原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念して開設された都市公園です。公園内のS字の道は、城下町特有の鍵型に折れ曲がる道があった名残です。

8



広島本通商店街

本通りは古くから老舗が軒を並べ商業地として栄えました。路面には9個の西国街道・旧町名銘板が設置されており、当時の町並みを感じながら散策できます。

5



FOCUS

スポット 西国街道デザインマンホール/サインボード

広島市中心部の西国街道沿いの一部区間に設置されています。広島城下町のメインストリートとして栄えた西国街道沿いの町並みは、原爆により失われてしまいました。市民団体や行政などが連携して「西国街道の可視化」に取り組んでいます。



スポット 広島城

1589年に毛利輝元が築城を開始、その後、福島氏や浅野氏の居城となりました。原爆によってほぼ全壊しましたが、天守閣は1958年に再建されました。広島城築城で城下町が誕生すると、城下を東西に貫いて通るルートが西国街道として位置づけられるようになりました。

お問い合わせ／広島城 082-221-7512





府中町歴史民俗資料館(府中公民館内)

過去から現在までの府中町のすがたを多角的に学べる展示構成により、楽しみながら理解できるよう2階と3階に展示を行っています。

1



田所明神社

内閣文庫風軒文書纂巖島神社定勅使祭主田所家文書所収。県重文田所文書所蔵。阿岐国造家で佐伯郡司、有力な庁官人、初申神事巖島神社勅使祭主を世襲。

4



多家神社(埃宮)

古事記、日本書紀ゆかりの地であり、神武天皇が日本を平定する旅の途中で立ち寄ったと伝わる由緒ある神社です。宝蔵は県重要文化財の指定を受けています。

2



道隆寺

広島県重要文化財の薬師如来坐像をはじめ、古文書、棟札など歴史的にも貴重な資料を多く收藏し、毎年5月の第3日曜日には花まつりが催されています。

5



龍仙寺

室町時代に真言宗の寺として建てられ、浄土真宗に改宗後、江戸時代の初めに現在地に移りました。江戸後期には多くの文人が来遊しています。

3



下岡田官衙遺跡

奈良時代に国により設置された瓦葺礎石建物2棟を中心とする「安芸駅家」の可能性が高い遺跡です。令和3年3月に町内初の国史跡に指定されました。

6



スポット 府中町歴史民俗資料館(府中公民館内)

令和4年4月からリニューアルオープンしました。「府中町の自然」「府中町のあゆみ」「府中町の暮らしと文化」を柱に資料を系統的に展示しています。国史跡下岡田官衙遺跡に関しては出土した瓦・木簡・土器の展示をはじめ映像やCGにより紹介しています。

お問い合わせ／府中町歴史民俗資料館 082-286-3260



特産品 安芸府中 白そば

府中町には江戸時代から「府中の白そば」という有名な特産品があったことが「芸備名取合」という書物に記されています。見た目の美しさだけでなく、味もまろやかで贈答品として大変喜ばれたそうです。平成3年に故郷に伝わる伝統の味として復活しました。



廿日市市



check

福佐売神社

節婦の榎本連福佐売を祀った神社です。「三代実録」には貞観14年(872年)にその節操を称し位階を与えられたという記録が残っています。



廿日市本陣跡

大名や役人が宿泊していた本陣です。廿日市宿の本陣役は山田氏が代々務めました。



けん玉商店街

廿日市が発祥のけん玉をモチーフにした飲食メニューや雑貨を販売する商店が立ち並びます。けん玉を描いたマンホール鉄蓋は隠れた人気スポットです。



(株)サクラオブルワリーアンドディスティラリー

広島県の原料を使った桜尾ジンや、モルト・グレーンウイスキーをはじめ幅広い酒類を製造しています。蒸留所の見学ができ、お酒の試飲・購入もできます。



廿日市天満宮

江戸時代中期から後期にかけて廿日市は北前船が出入りしていました。灯籠の明かりは灯台として沖をゆく船の安全を守っていたと伝えられます。



津和野藩御船屋敷跡

津和野藩亀井家は元和6年(1620年)、広島藩との合意のもと、桜尾城跡の西側一帯に留置を設け御船屋敷としました。



FOCUS

伝統工芸 木材利用センター 廿日市市木材港北5-95

廿日市市木材利用センターは、子どもから大人まで、様々な木工体験を楽しむことができる施設です。木工品の展示販売のほか、毎月各種木工教室を開いています。また、けん玉製造の見学やけん玉の販売、けん玉教室など、技術の継承と普及を図っています。

お問い合わせ/廿日市市木材利用センター 0829-32-2393



スポット 街道松

寛永10年(1633年)、広島藩は幕府巡検使のために西国街道の整備を行い、街道の両側に松の並木を植えました。松並木には、夏は緑陰の下に休息の便を演出し、冬は風雪を防ぐ役割もありました。現在は1本だけが残っています。





check

ブルー : ショートコース
オレンジ : ロングコース



国津神社と
黒川の台場跡

鍵形の道

西念寺の
砲弾跡

亀居城跡
(亀居公園)

鷲(けごろも)の碑

詩の坂道
(亀居公園内)

和田家の長屋門

● 晴海
ショッピング
エリア



晴海臨海公園



大竹市役所

西国街道

※当時の西国街道の道とは異なる可能性があります。

小方港

亀居城跡(亀居公園)

福島正則により築城されましたが、わずか3年で幕府により破却されました。本丸跡からは瀬戸内海の島々が一望できます。



鷲(けごろも)の碑

天保14年(1843年)に松尾芭蕉の150回忌を記念して建てられました。碑にある句は芭蕉が亡くなる前年の元禄6年(1693年)の冬を詠んだものです。



詩の坂道(亀居公園内)

大竹市出身の作詞家、石本美由起氏が作詞した「憧れのハワイ航路」「悲しい酒」「矢切の渡し」などの名曲の数々を石碑で紹介しています。



和田家の長屋門

江戸時代から庄屋・割庄屋を務めた和田家は、その功績により長屋門が許されました。この門は慶応2年の長州征討で焼失、翌年に復元されました。



西念寺の砲弾跡

西念寺は第二次長州征討で進出してきた長州軍の本陣となったため、幕府側から艦砲射撃による反撃を受け、現在も本堂の肘木にはその傷跡が残っています。



関連情報は
コチラ



おおたけ歴史探訪
～西国街道を訪ねて～



FOCUS

伝統工芸 大竹手すき和紙

大竹市防鹿3365

おおたけ手すき和紙の里は、400年以上の歴史がある大竹の紙すきの技法を受け継いでいます。原料となる楮(コウソ)を自家栽培し、加工から漉きまでの作業を一貫して行っています。事前に申し込み、施設見学や紙すき体験ができます。

お問い合わせ/おおたけ手すき和紙の里 0827-93-3576



特産品 あたたハマチtoレモン

「あたたハマチtoレモン」は阿多田島のブランド魚です。特徴①上品な脂とほのかなレモンの風味。特徴②レモンのリモンネン効果で時間が経っても身色が長持ち。

お問い合わせ/大竹市総務部産業振興課 0827-59-2130



和木町



check

三秀神社遺跡記念碑

200年にわたる吉川、浅野両家の国境争いの中で、宝暦2年(1752年)に小瀬川口の与三野地で起きた騒動の犠牲者3人が神に祀られています。



僧橘仙の墓

弘化2年(1845年)から15年間、吉川藩の菩提寺『洞泉寺』の住職をし、島津藩無三和尚(西郷隆盛の師)が学徳を深く尊敬していたといわれる僧橘仙の墓です。



米元廣右衛門碑

米元廣右衛門(文政6年～明治22年)は晩年、小瀬川口での海苔の養殖で成功を収めました。以来、地域の農家は海苔の製造を副業とし家計を潤しました。



和木町役場 庁舎

黒川紀章氏が設計した赤レンガのモダンな建物。町のシンボルとして建築されており、およそ半世紀、現在も町行政の拠点として機能を果たしています。



彦根戦死士の墓

慶応2年(1866年)6月14日未明、第二次征長軍芸州口先鋒として先陣をきって小瀬川を渡ろうとし、長州軍の銃火を浴びて異境に死んだ彦根藩木俣隊使番竹原七郎平らの墓です。



和木町役場裏の枝垂れ桜

知る人ぞ知る枝垂れ桜。4月上旬が見頃で、開花中の夜間はライトアップされ、幻想的な雰囲気を楽しむことができます。



FOCUS

スポット 四境之役 封境之地碑

1866年(慶応2年)、江戸幕府の「第二次長州征伐」は長州側では「四境の役」や「四境戦争」などと呼び、「芸州口の戦い」の舞台小瀬川の右岸の石碑は長州軍が幕府軍を長州側(和木町側)に一兵も入れることなく封じ込めたことを今に残しています。

お問い合わせ/和木町教育委員会 0827-53-3123



特産品 もぶり

「もぶり」是和木、大竹地方に古くから伝わる方言で「まぜあわせる」という意味です。人参やごぼう、干しシイタケ等の具材を醤油味で甘辛く煮た郷土料理の一つで、素朴で懐かしい味として昔から親しまれています。

お問い合わせ/和木町地域振興協会 0827-28-4666





check

高森本陣跡

長州藩の東端に位置する宿駅として重要視され、藩主や大名の参勤交代、幕府の役人の宿泊等に利用されました。

1



高森天満宮

学問の神様、菅原道真が祀られており、周防三天神の一つです。

4



吉田松陰の宿泊宿跡

吉田松陰(1830年~1859年)は高森本陣近くに宿泊したと伝えられています。

2



城山公園

源平合戦の折、源義経の義兄である源範頼が、一夜宿陣を構えたといわれています。

5



宇野千代の文学碑

作家 宇野千代(1897年~1996年)の父の実家です。碑面には著書「或る一人の女の話」の高森のことが刻まれています。

3



杉敏介の石碑

杉敏介(1872年~1960年)は日本の教育者で、夏目漱石「吾輩は猫である」の津木ピン助のモデルとなった人物です。

6



FOCUS

特産品

高森牛

高森牛は、しつこすぎないさっぱりとした脂と、赤身から感じられる肉本来のしっかりとした味わいがあります。地元から愛される味をぜひ一度ご賞味ください。



スポット

宇野千代の文学碑

作家 宇野千代(1897年~1996年)の父の実家は、造り酒屋の宇野酒造を営む財産家でした。現在、宇野酒造跡には文学碑が建立され、碑面には著書「或る一人の女の話」の高森のことを書いた一節が刻まれています。春には薄墨桜が美しく咲き誇ります。



広島広域都市圏のご紹介

広島広域都市圏は、広島市を中心として広島県、山口県及び島根県の3県にまたがる34市町で構成されています。

この34市町で構成する広島広域都市圏協議会では、圏域の一体的な発展に向けた交流・連携を推進しています。

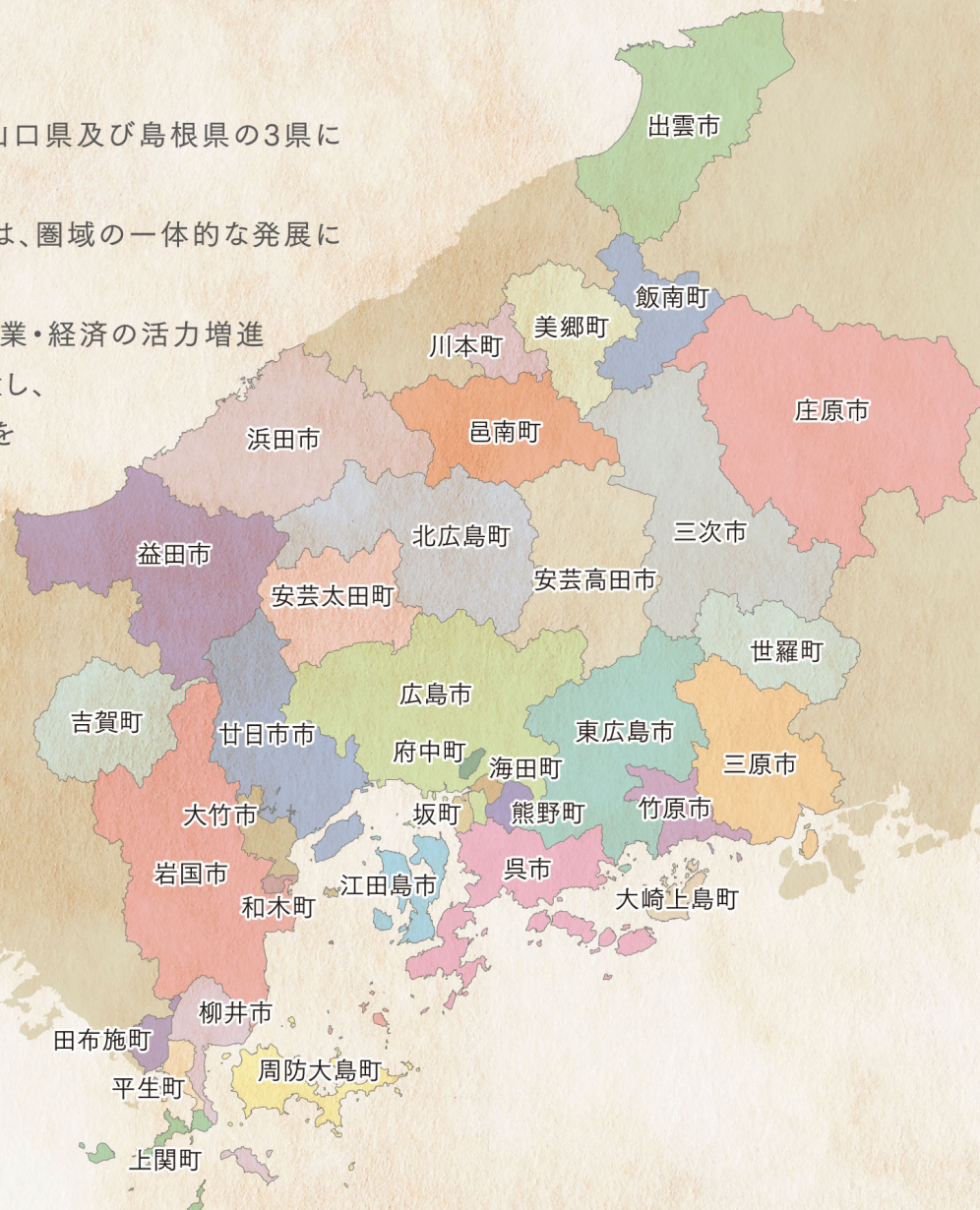
また、この協議会では、圏域内のまちの活性化や産業・経済の活力増進などを図ることを目的として「まち起こし協議会」を設置し、「西国街道」や「神楽」、「食と酒」といった地域資源を積極的に活用した取組を進めています。



詳しくは
ホームページを
見てほしいワン♪



200万人広島都市圏構想



西国街道とは

古代から中世まで、京都と大宰府を結ぶ唯一の大路だった「山陽道」。江戸時代になると、江戸と「西国」九州への経路をつなぐ重要な道路として発展し、五街道（東海道・中山道・日光道・奥州道・甲州道）に次ぐ脇街道と位置付けられました。江戸時代では、西国街道・西国往還・西国路などと呼ばれていましたが、現在では「西国街道」と呼ぶのが一般的です。

この街道では、寛永10年（1633年）の幕府巡見使の視察や、寛永12年（1635年）の参勤交代制度の確立などを契機として各地で街道の整備が行われ、街道沿いには宿駅や一里塚などが設けられました。参勤交代や幕府の要人、一般の人々など多くの人やモノが行き交い、それぞれの地域は発展していきました。

街道が通る広島広域都市圏の10市町※には、それぞれ様々な歴史的な見どころがあります。このマップでは西国街道沿いの見どころを紹介していますので、ぜひマップ片手に街道を横断し、その歴史に触れてみてください。

※広島市、竹原市、三原市、大竹市、東広島市、廿日市市、府中町、海田町、岩国市、和木町

広島城下絵屏風 部分（広島城所蔵）

西国街道



お問い合わせ

“西国街道”まち起し協議会事務局（広島市企画総務局政策企画部広域都市圏推進課内）
広島市中区国泰寺町一丁目6番34号 TEL:082-504-2017 FAX:082-504-2029

ひろしま都市犬はっしー

はっしーは、広島市を中心とした、広島県、山口県、島根県の3県にまたがる34市町で構成する広島広域都市圏のマスコットキャラクターです。

おじさん?ですが、活発な性格で、市や町を「はしわたし」してみんなを仲良くしたり、たくさんの魅力を「はっしん」するため日夜走り回っています。

趣味は、圏域内のおいしい食べ物とお酒を探すこと。

特技は、おいしい匂いを100km先からでもキャッチできること。

皆さんぜひ応援してください!!



広島広域都市圏イベント情報誌 イチ押し!
情報ステーション

り～ぶら



@RIBURA_OFFICIAL

▲ Instagram



バックナンバー

広島広域都市圏の最新イベント情報がひと目でわかる!

春・夏・秋・冬のシーズンごとに発行していて、

プレゼント企画もやっているワン🐾

過去のり～ぶらはバックナンバーで見てみてね!



広島広域都市圏ポイント

としポ

お得な
ポイント
アプリ

地域の応援になる活動「ちょっといいこと」がポイントになります。日常の中のちょっとした積み重ねで、広島広域都市圏を元気にしませんか。

貯める

お買い物

イベント

地域活動など

使う

お買い物

寄付

ポイント抽選
地元特産品・スポーツ観戦チケット

アプリを
ダウンロード!



広島広域都市圏のオススメ情報はこちら!



ひろしま公式観光サイト

